

和歌山県新宮産

天台烏薬葉

天台烏薬の歴史的考察

天台烏薬は江戸時代の中期、享保のころ、中国から伝わった薬用植物の一つである。牧野・新植物図鑑によると、「昔、享保年間に中国から伝わった常緑低木で、原産地は中国であるが、今では九州や和歌山・大阪・静岡などの諸府県に野生している。元来、天台烏薬と呼んだものである」と。

天台烏薬が自生している地域は、徳川家ゆかりの場所が多く、神社や寺などの御神木として、または薬草として栽培されている場合があり、この植物のわが国における分布の実態を調べるとき、それが江戸幕府の政治の推移とまことに関係が深く、他の植物とは比較にならない歴史的情緒の豊かな植物であることがわかった。

天台烏薬は、八代将軍、徳川吉宗の頃に中国から輸入されたというのが、定説であるが、紀伊半島など南紀一帯には天台烏薬の自生するものも多く、特に三重県の熊野・尾鷲方面にたくさん自生するそうである。その結果天台烏薬は本来我が国に自生していたもので、今から約2,200年ほど前、中国を統一した秦の始皇帝に仕えた徐福が、始皇帝の命をうけて、3000人の童男童女をひきい、東方洋上に浮かぶ仙島に不老長寿の霊薬を求めて出航した。そして、熊野新宮に辿りつき見つけた霊薬が天台烏薬であったという伝説が、今も語り継がれている。

参考文献 堺女子短期大学 堀田 武氏論文より

製品規格



テンダイウヤク葉(刻み焙煎品)

- 荷姿: 20kg
- 用途例: 製茶他加工食品、浴用化粧品、その他
- 原材料表示例: テンダイウヤク葉



テンダイウヤク葉末

- 荷姿: 5kg×2
- 菓子・麺類他加工食品、健康食品、その他
- 原材料表示例: テンダイウヤク葉末



スタンレー薬品有限公司

〒630-0255 奈良県生駒市山崎新町 10-22
TEL : 0743-20-8317 FAX : 0743-20-7096
E-mail : info@stanley-p.co.jp
URL : <http://www.stanley-p.co.jp/>